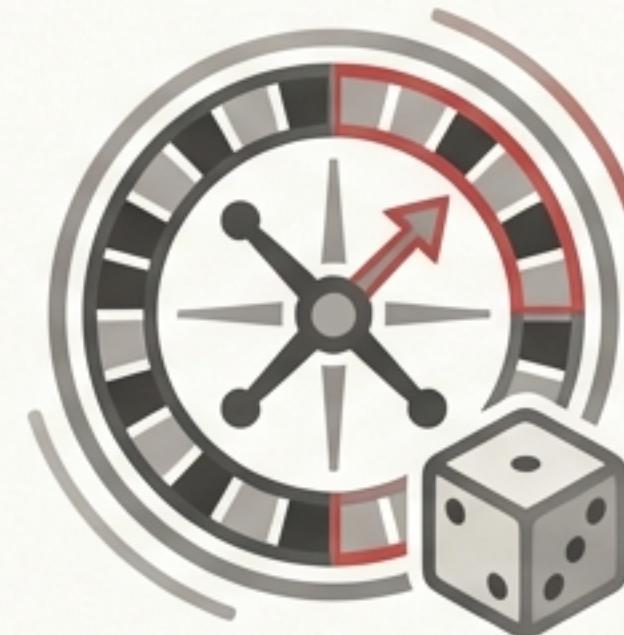


農業収益化エンジン：直感から科学へ

「作れるもの」ではなく「売れるもの」を作る

現状：生産起点



- ・経験と勘に頼る品種選定
- ・相場変動に負ける「博打」
- ・努力しても報われない

未来：需要起点



- ・データに基づく戦略的選定
- ・利益が確実な「経営」
- ・耕作放棄地が宝の山になる

なぜ農業ＩＴで「赤字」は減らないのか

多くの技術は「管理」のみを効率化している



- ・「何を植えるか」の判断ミス
- ・土地と市場に合わない選定
- ・ここを解く技術が存在しない

- ・水やりや監視の自動化
- ・「植えた後」の作業効率化
- ・※戦略ミスは挽回できない

本事業のアプローチ：管理ではなく「意思決定」を変える

「儲かる作物」を導く3つの論理

土地・相場・食卓のデータで最適解を算出



手順1：物理的適性（土地）

- ・気象と土壤データを分析
- ・「その土地で育つ作物」を判定
- ・収穫量の最大化



手順2：経済的合理性（相場）

- ・市場価格の推移を予測
- ・「最も高く売れる時期」を特定
- ・収益性の最大化



手順3：潜在需要（画像解析）

- ・料理写真から人工知能が解析
- ・「今、店が欲しい野菜」を可視化
- ・確実な販路の確保

「悲しいギャンブル」のない世界へ 失敗した農家の息子だからこそ描ける未来

私の原体験（過去）

- ・相場暴落で苦しむ父の姿
- ・設備投資の罠で引けない赤字
- ・報われない努力への憤り

目指す世界（未来）

- ・データが「稼げる農業」を保証
- ・若者が迷わず参入できる産業へ
- ・次世代の「緑の革命」を起こす

